



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月4日

上場会社名 丸文株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7537 URL <http://www.marubun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲村 明彦 (TEL) (03) 3639 - 3010
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 岩元 一明 配当支払開始予定日
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	51,045	12.8	147	-	60	-	269	-
22年3月期第1四半期	45,240	7.3	306	-	633	-	374	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	10	29	-	-
22年3月期第1四半期	14	32	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年3月期第1四半期	117,413		35,327		27.6		1,238 97	
22年3月期	110,665		35,819		29.7		1,258 17	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 32,382百万円 22年3月期 32,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
22年3月期	-	-	3	00	-	-	5	00	8 00
23年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	5	00	-	-	6	00	11 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	102,000	1.6	750	94.5	420	-	95	-	3	63
通期	221,000	6.3	2,850	32.5	2,250	117.4	1,100	143.0	42	09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 社（社名）、除外 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：有

以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	28,051,200株	22年3月期	28,051,200株
23年3月期1Q	1,914,663株	22年3月期	1,914,663株
23年3月期1Q	26,136,537株	22年3月期1Q	26,136,952株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. (参考) 個別財務諸表等	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表	10
(2) (参考) 四半期損益計算書	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日～平成22年6月30日)におけるわが国の経済は、新興国向けの輸出の増加や政府の経済対策の効果により企業収益が改善するとともに、個人消費も持ち直しの動きが見られました。その一方で、欧州の財政問題が懸念材料となり、円高・株安が進行するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンの需要が世界的に伸長するとともに、ノートPCや薄型テレビも好調を維持し、半導体製造装置や工作機械等の設備投資も改善しました。また、中国やインドなどの新興国市場でのPCや携帯端末需要の拡大に伴い、半導体市場も好調に推移しました。

こうした状況の下、当第1四半期連結会計期間における当社グループの売上高は、前年同期比12.8%増の51,045百万円となりました。営業利益は売上の増加に伴い、147百万円(前年同期は306百万円の営業損失)、経常損益は為替差損131百万円を計上した結果、60百万円の損失(前年同期は633百万円の経常損失)となりました。四半期純損益は投資有価証券評価損156百万円を計上した結果、269百万円の損失(前年同期は374百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業は、テレビ向けの液晶パネルや携帯電話モジュール向け半導体が好調で、産業機器向けや車載向けの半導体も売上が増加しました。その結果、売上高は前年同期比12.6%増の45,243百万円、セグメント利益は前年同期比127.7%増の323百万円となりました。

(システム事業)

システム事業は、科学機器やレーザ機器は前年同期並みに止まったものの、半導体の検査装置や搬送装置などの試験計測機器及び医用機器の売上が増加しました。その結果、売上高は前年同期比14.8%増の5,802百万円、セグメント損益は173百万円の損失(前年同期は448百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、117,413百万円となり、前連結会計年度末比6,748百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産が前連結会計年度末に比べ6,009百万円増加(売掛金及び受取手形が1,779百万円、商品及び製品が4,592百万円それぞれ増加)したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7,240百万円増加し、82,086百万円となりました。主な要因は、流動負債が前連結会計年度末に比べ7,002百万円増加(支払手形及び買掛金が6,703百万円増加)したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ492百万円減少し、35,327百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が21百万円増加したものの、利益剰余金が400百万円、繰延ヘッジ損益が129百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月7日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益は2百万円減少し、経常損失は2百万円、税金等調整前四半期純損失は5百万円それぞれ増加しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,456	25,588
受取手形及び売掛金	55,149	53,370
商品及び製品	20,127	15,535
仕掛品	28	16
未収還付法人税等	11	-
繰延税金資産	1,092	1,709
その他	2,379	3,015
貸倒引当金	30	29
流動資産合計	105,214	99,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,302	4,162
減価償却累計額	2,623	2,589
建物及び構築物(純額)	1,679	1,572
機械装置及び運搬具	30	30
減価償却累計額	28	28
機械装置及び運搬具(純額)	1	1
工具、器具及び備品	2,329	2,311
減価償却累計額	1,787	1,752
工具、器具及び備品(純額)	542	559
土地	2,528	2,528
リース資産	10	10
減価償却累計額	3	2
リース資産(純額)	7	8
建設仮勘定	3	5
有形固定資産合計	4,761	4,675
無形固定資産		
のれん	21	12
その他	543	607
無形固定資産合計	564	620
投資その他の資産		
投資有価証券	1,372	1,513
長期貸付金	7	7
繰延税金資産	2,251	1,431
投資不動産	3,082	3,080
減価償却累計額	1,924	1,910
投資不動産(純額)	1,158	1,169
その他	2,083	2,043
投資その他の資産合計	6,873	6,165
固定資産合計	12,199	11,460
資産合計	117,413	110,665

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,936	35,233
短期借入金	12,273	12,284
1年内償還予定の社債	1,048	1,048
未払法人税等	-	145
賞与引当金	536	588
その他	2,052	1,545
流動負債合計	57,848	50,845
固定負債		
社債	119	119
長期借入金	21,632	21,500
退職給付引当金	1,513	1,578
役員退職慰労引当金	563	551
資産除去債務	140	-
その他	269	250
固定負債合計	24,238	23,999
負債合計	82,086	74,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	22,133	22,533
自己株式	1,630	1,630
株主資本合計	33,071	33,471
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119	97
繰延ヘッジ損益	78	50
為替換算調整勘定	729	735
評価・換算差額等合計	689	587
少数株主持分	2,944	2,935
純資産合計	35,327	35,819
負債純資産合計	117,413	110,665

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	45,240	51,045
売上原価	41,823	47,311
売上総利益	3,417	3,734
販売費及び一般管理費	3,723	3,586
営業利益又は営業損失()	306	147
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	6	18
投資不動産賃貸料	49	40
雑収入	50	56
営業外収益合計	119	130
営業外費用		
支払利息	146	141
為替差損	243	131
雑損失	56	65
営業外費用合計	446	338
経常損失()	633	60
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資不動産売却益	34	-
特別利益合計	34	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	9
投資有価証券評価損	-	156
事業構造改善費用	13	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3
特別損失合計	17	169
税金等調整前四半期純損失()	616	229
法人税等	212	1
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	228
少数株主利益又は少数株主損失()	29	40
四半期純損失()	374	269

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	616	229
減価償却費	168	155
のれん償却額	27	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	17	0
賞与引当金の増減額(は減少)	96	51
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12	11
退職給付引当金の増減額(は減少)	107	65
受取利息及び受取配当金	12	15
支払利息	146	141
為替差損益(は益)	2	73
持分法による投資損益(は益)	6	18
有形固定資産売却損益(は益)	0	0
投資不動産売却損益(は益)	34	-
投資不動産賃貸料	49	40
投資有価証券評価損益(は益)	-	156
有形固定資産除却損	3	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3
売上債権の増減額(は増加)	5,803	1,735
たな卸資産の増減額(は増加)	1,642	4,587
仕入債務の増減額(は減少)	6,059	6,693
その他	2,607	858
小計	4,174	1,358
利息及び配当金の受取額	11	16
利息の支払額	17	31
法人税等の支払額	141	262
法人税等の還付額	7	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,034	1,082
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	300	30
定期預金の払戻による収入	-	86
有形固定資産の取得による支出	39	33
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	11	21
投資有価証券の取得による支出	4	51
投資不動産の売却による収入	34	-
投資不動産の賃貸による収入	48	40
その他	101	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	373	41
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	967	1,181
短期借入金の返済による支出	2,413	1,186
長期借入れによる収入	-	132
配当金の支払額	0	118
少数株主への配当金の支払額	-	69
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,446	61
現金及び現金同等物に係る換算差額	119	111
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,333	1,090
現金及び現金同等物の期首残高	20,071	24,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,404	25,522

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	デバイス事業 (百万円)	システム事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	40,188	5,052	45,240	-	45,240
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	8	8	8	-
計	40,188	5,061	45,249	8	45,240
営業利益又は営業損失()	142	448	306	-	306

(注) 会計処理の方法の変更

(営業費用の配賦方法の変更)

前連結会計年度まで、当社の管理部門に係る費用は配賦不能営業費用として消去又は全社の項目に含めておりましたが、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に、当連結会計年度から各セグメントへ配賦を行う方法に変更いたしました。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益はデバイス事業で424百万円、システム事業で246百万円それぞれ減少し、消去又は全社で670百万円増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	37,801	7,439	-	45,240	-	45,240
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,511	124	-	1,636	1,636	-
計	39,312	7,564	-	46,877	1,636	45,240
営業利益又は営業損失()	382	76	1	306	-	306

(注) 会計処理の方法の変更

(営業費用の配賦方法の変更)

前連結会計年度まで、当社の管理部門に係る費用は配賦不能営業費用として消去又は全社の項目に含めておりましたが、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に、当連結会計年度から各セグメントへ配賦を行う方法に変更いたしました。

なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益は日本で667百万円、アジアで3百万円それぞれ減少し、消去又は全社で671百万円増加しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	アジア	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	12,394	22	12,416
連結売上高(百万円)	-	-	45,240
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.4	0.0	27.4

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に商品及び提供するサービスの性質により区分した事業部を置き、各事業部は取り扱う商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「デバイス事業」及び「システム事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デバイス事業」は、汎用IC、メモリーIC、特定用途IC等の半導体及び一般部品を販売しております。「システム事業」は、航空宇宙機器、試験計測機器、レーザ機器、科学機器、医用機器等を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	45,243	5,802	51,045	51,045	-	51,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	7	13	13	13	-
計	45,249	5,809	51,058	51,058	13	51,045
セグメント利益又はセグメント 損失（ ）	323	173	150	150	3	147

(注) 1. セグメント利益の調整額 3百万円には、セグメント間取引消去 0百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用 2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4 . (参考) 個別財務諸表等

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位 : 百万円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,852	19,053
受取手形及び売掛金	31,387	31,827
商品	9,045	7,337
その他	5,256	4,120
貸倒引当金	9	9
流動資産合計	64,532	62,329
固定資産		
有形固定資産	3,616	3,548
無形固定資産	561	618
投資その他の資産	7,511	6,830
固定資産合計	11,688	10,998
資産合計	76,221	73,327

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,448	13,871
短期借入金	8,650	8,650
一年内償還予定社債	1,000	1,000
未払法人税等	13	20
引当金	249	354
その他	1,603	1,069
流動負債合計	27,965	24,966
固定負債		
長期借入金	20,000	20,000
引当金	1,763	1,811
資産除去債務	111	-
その他	230	213
固定負債合計	22,105	22,025
負債合計	50,070	46,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	15,204	15,309
自己株式	1,630	1,630
株主資本合計	26,142	26,247
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	38
繰延ヘッジ損益	78	50
評価・換算差額等合計	7	88
純資産合計	26,150	26,335
負債純資産合計	76,221	73,327

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (参考) 四半期損益計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	25,879	28,640
売上原価	23,538	26,124
売上総利益	2,341	2,515
販売費及び一般管理費	2,658	2,511
営業利益又は営業損失()	317	4
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	139	272
その他	90	90
営業外収益合計	243	368
営業外費用		
支払利息	131	118
為替差損	212	56
その他	55	67
営業外費用合計	399	243
経常利益又は経常損失()	473	129
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資不動産売却益	34	-
貸倒引当金戻入額	0	0
特別利益合計	35	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	2	5
投資有価証券評価損	-	156
事業構造改善費用	13	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3
特別損失合計	15	165
税引前四半期純損失()	453	36
法人税等合計	226	62
四半期純利益又は四半期純損失()	226	25

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。